

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年春、中学生にアンケートした「将来目指す米里の姿」のキーワードは「楽しく」「笑顔」でした。今年は「辰」の年、これからの成長を形作っていく年です。結果はもちろん、そこに至る過程でも、皆さんの笑顔があふれる1年にしていきたいものです。

猛暑だった昨年は、ウクライナに加え、パレスチナ・ガザ地区での戦火などの報道で重苦しい1年でした。また、国内外で分断が進み、民主主義が問われる1年でもありました。国内では、コロナ5類移行で明るい兆しも見えてきましたが、進行する少子高齢化に加え、コロナ後遺症ともいえる人と人のつながりの希薄化は、ポディブローのように地域の力を削いでいます。そうした中で、各地域では、お任せではなく、自ら治める力が試されています。

ラグビー・桜ジャパンのように、町内会や地区の中でコミュニケーションをとり、コロナ禍で弱くなったスクラムを組み直し、前へ前へと取り組みを進めていきましょう。安心安全で活力あるよねさとづくりに向けて、今年も皆さんの積極的参加をよろしくお願いいたします。

米里地区自治会・よねさとづくり協議会 会長 福田忠司



各町内会の現状は？ ～組織実態調査より～

市自治連合会では、近年町内会加入率が低下していることから、昨年末、各地区町内会組織の実態調査を実施されました。（米里の11町内会の主な回答結果は右のとおりです。）

その中に「**町内会の活性化に必要なものは？**」という質問項目があります。各町内会長の回答の中で多かったのは以下のとおりでした。（数字は回答した町内会長の人数です。）

- ① 若者層の地域参画 ……9
- ② 地域住民の意識啓発 ……7
- ③ リーダーとなる人材 ……4、役員意識改革 ……4

町内会を活性化する方法は？

町内会は、住民個々では届かない声を束ねて行政や外部組織に届けたり、力を合わせて取り組む私たち自身の組織です。しかし、町内会に入らない人や抜ける人が生じ、他地区でも役員の皆さんは頭を悩ませています。そのため、米里地区では、本年度自治会内に検討委員会を設け、町内会を活性化する方法を提案しようと検討しています。

自治会長ほか委員7名（小中学校保護者4名や区長経験者3名）により、どういう町内会を目指すのかと共通目標を確認することから始め、3月には最終提案とする予定ですが、「**コミュニケーションあふれる町内会**」を目標に、地区自治会で、あるいは各町内会で具体的に何ができるか提案をまとめていく予定です。



検討委員会の様子

1年を振り返り、令和6年度に向けて

～区長部会決算総会、自治会・よねさとづくり協議会全体会～

12月9日、令和5年最後の区長部会決算総会を開催しました。現区長による仮決算を承認し、1年間の取組を総括し、来年度の取組み方針などを協議しました。

引き続き、自治会委員総会・よねさとづくり協議会全体会を開催し、協議・検討事項や各種団体に関わる現在までの動きについての中間報告などを行いました。

主な内容は以下のとおりです。

- ・各種団体の会計事務を簡素化するため、会計処理規則を改正（来年度から適用）
- ・各町内会から選出する委員の見直しと要請（公民館女性部の廃止、自主防連絡協議会委員などへの区長兼務廃止など）
- ・地区運動会、地区敬老会の来年度開催に向けての協議状況（報告）
- ・地区子ども会の本年度末での解散に向けた動き（報告）
- ・自主防災・防犯の組織の統合に向けた検討状況（報告）

など

区長・町内会長の皆さん、1年間お世話になりました。ありがとうございました。

町内会だより ～雲山南～

昭和54年に発足した雲山南団地町内会も45年の歳月を重ね、363世帯およそ千人の方々の住まう町内会に発展しました。しかし、少子高齢化の波は、当町内会でも顕著に現れてきつつある現状です。それに対応した町内会活動が喫緊の課題となっています。

そうした中、コロナ禍も沈静化の方向が見えてきましたので、昨年は4年ぶりに納涼祭を開くことができました。会員の皆様の歓声が戻り、成功裡に終わることができ、役員共々感激に堪えません。これからも納涼祭を町内コミュニティ活動の中心として継続していくことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。（雲山南団地町内会 会長 岡村政美）



納涼祭の様子



受賞おめでとうございます

◎米里地区遺族会長の大川則顕さん（越路）が、令和5年度援護事業功労者として12月6日に厚生労働大臣表彰を受賞されました。

◎米里地区老人クラブ連合会が、11月30日の鳥取市社会福祉大会において市社会福祉協議会より表彰されました。